

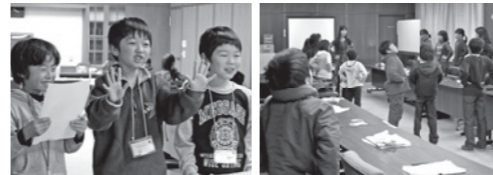
マンガやアニメを生かしたまちづくり



市では、マンガやアニメを生かしたまちづくりに取り組んでいます。熊本に縁のあるマンガ家やアニメクリエーター、NPO団体、民間企業などと連携し、マンガやアニメによる地域活性化を図り、さまざまな事業を行なっています。

アニメCM作りに挑戦

12月22、23日、市内の小学4～6年生25人が、自分たちで作ったアニメーションCMに、プロの声優から



指導を受け、声の吹き込みを行ないました。子どもたちは、夏休みの3日間に「合志市」を題材としたアニメ作りに取り組み、原画の作成から編集まで行ないました。今回は、声優から声の大きさやタイミング、感情表現の仕方などを学び、動画を見ながらせりふやナレーションを吹き込み、完成させました。完成した作品は、ホームページに掲載する予定です。

真剣な表情で動画を見ながら台本を読む子どもたち

ブランド12と包括協定

11月29日、NPO法人ブランド12と市は、地域社会発展のための包括協定を結びました。

ブランド12は「著名なマンガ家やアニメクリエイター、アーティストを輩出している熊本をマンガの聖地にしよう」をコンセプトに、世界に通じる日本の文化「マンガ」を通して、さまざまな企画活動を行なっている団体です。

相互の強みを生かしながらまちづくりを積極的に推進していきます。



ブランド12 松江慎太郎代表(右)

熊本高等専門学校内で開催しています



熊本こうし響創塾

現在、熊本県に縁のあるマンガ家やアニメクリエイターが数多く活躍しています。「熊本こうし響創塾プロジェクト」は、そんな活躍している人たちに続く、次世代のマンガ・アニメクリエイターを本市で育成しようというものです。

塾では、業界の第一線で活躍している人たちが講師として迎え、21人の受講生がアニメ業界の仕事に就くための手段や方法などを学んでいます。



ボランティアの輪を広げよう

ボランティア活動に感謝状を贈呈

11月23日、ヴィーブルで第2回合志市ボランティア表彰式を開催し、区長や市ボランティア連絡協議会から推薦された10個人・11団体の計21組に、長年にわたる活動に対する功績をたたえ、感謝状を贈呈しました。

ボランティア表彰制度とは

ボランティアを通じて社会に貢献している個人や団体の労をねぎらい、さらなる活躍を期待するとともに、市自治基本条例にうたわれている、市民や市議会、行政の三者による「協働」の実践を表彰し、活動の輪が広がっていくことを願って創設したものです。

式では、市ボランティア協議会会長の迫松夫さんより、ボランティア活動の実績・状況の紹介や活動事例の発表がありました。今回表彰された皆さんとそれぞれの活動を紹介いたします。



つかもと みなこ 塚本 美良子さん (中林) 環境美化・交通安全



おおしま かずひろ 大嶋 和博さん (平島) スポーツ



いまがわ やすひこ 今川 彌壽彦さん (南陽) 交通安全



いで みちこ 井手 美智子さん (泉ヶ丘) 留学生支援・交流

昭和62年から熊本高等専門学校に在籍し、留学生支援活動を行なっています。また、10年ほど前から合志国際交流会と一緒に留学生たちとの交流を続けています。

定年退職をきつかけに、小学生の登下校時に横断歩道に立ち、児童の見守りを続けています。暑い日も雨の日も、一日も休まず子どもたちに声かけをしています。

合志小サッカー部の指導を33年続けており、Jリーガーや国体選手も育てました。サッカー協会の設立にも尽力し、自身も現役選手として活躍しています。

子どもたちを小学校のスクールバス停まで10年以上毎日送迎をして、児童の交通安全に努めています。またごみ置き場の清掃片付けを行なっています。

今月の表紙



12月13日、竹迫みのり保育園で行なわれたもちつき。園児たちは、重いぎねを持ち、力いっぱいもちをついた後、つきたてのもちを上手にまるめ、おいしそうにほおばっていました。

今月の主な話題

- 新年のごあいさつ 2
- ボランティア活動に感謝状を贈呈 5
- 衆議院小選挙区選出議員選挙投票結果 9
- 確定申告・市県民税申告はお早めに 10
- 認知症予防啓発講演会 15
- 「いつまでも若々しく、イキイキ脳になるためには」